令和２年度　地域連携事業　実施結果

1.　事業名称：**連続セミナー「多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み」**
　　第４回「多文化共生とウェルビーイング」
2.　事業種別：共催
3.　申 請 者：小池 康弘（愛知県立大学外国語学部ﾖｰﾛｯﾊﾟ学科ｽﾍﾟｲﾝ語圏専攻　教授）
4.　主　　催：多文化共生研究所
5.　共　　催：愛知県立大学地域連携センター・ＮＰＯ法人 地域と協同の研究センター
6.　開催日時：令和３年３月 28 日（日）　13：30～16：30
7.　会　　場：オンライン（Zoom ミーティング）
8.　報 告 者：田中 夏子 氏（協同組合研究者／長野県高齢者生活協同組合）
　　樋口 倫代 氏（名古屋市立大学看護学部　教授
　　／Bridges in Public Health 代表）
　　李 正光 氏（特定非営利活動法人 コリアンネットあいち 事務局次長）
9.　司　　会：神田 すみれ（愛知県立大学多文化共生研究所
　　／地域と協同の研究センター　研究員）
10.　参加者数：38 名（一般）

【概　要】

報告者３名による報告と問題提起の後、パネルディスカッションをした。Zoom のチャット機能を併用し、参加者を交えて議論をした。

【ディスカッションの様子】

【チラシ】

多文化共生を促進する地域・社会的連携の取り組み

連続セミナー　多文化共生とウェルビーイング　参加無料

3月28日（日）13:30～16:30　（オンライン開催）

同じ社会に生きる人を誰も排除しない、個を尊重して補い合うインクルーシブな社会を形成するためには、個人に表れる課題が生まれる背景と社会環境に着目し、社会包括的な変化をもたらすことが必要です。社会の受容力を高め、すべての市民のウェルビーイングにつながる社会環境をどう創るか。このセミナーでは、社会的協同組合の研究者、保健医療・公衆衛生の専門家、在日コリアンの３名をパネリストとしてお迎えし、私たちはどのような多文化社会を目指すのかを参加者とともに議論します。

パネリスト

田中 夏子 氏 協同組合研究者 / 長野県高齢者生活協同組合

イタリアの社会的協同組合（社会的排除と闘う実践や、コミュニティ（協同組合）再生も含む）、ネットワーキング地域経済を強とした、イタリア中山間地の地域再生、ワーカーズ・バイ・アウトによる事業再生（協同組合）を研究しています。専門領域は産業社会論、協同組合論。日本協同組合学会前会長（2017-2019）、長野県高齢者生活協同組合理事長（2019-）長野県佐久市にて農園 Verde e Terra（緑と土）運営。

樋口 倫代 氏 名古屋市立大学看護学研究科 教授/Bridges in Public Health 代表

健康と社会のつながりについて研究しています。特に経済に乏しい人々へのアクセス医療テーマにしています。国内医療ソーシャルワーカーとして病院勤務を経て、タイ・イギリスで公衆衛生を学び、インドネシア、ボスティモール、ケイ、ドンで活動しました。2003年よりＮＰＯの大学で、公衆衛生やグローバルヘルスを教えています。一般社団法人Bridges in Public Healthを立ち上げ代表をつとめています。

李 正光 氏　特定非営利活動法人 コリアンネットあいち 事務局次長

愛知県尾張市出身。在日３世。祖父が戦前に日本に渡り、尾張に定住。愛知県立中高級学校卒業後、東京の朝鮮大学校政治経済学部卒業。16年間の民族教育を経て、地元の青年団体の運営委員として10年間の活動をしたのち、2016年12月から特定非営利活動法人コリアンネットあいち事務局に就職。現在事務局次長として、法人の運営全般にあたっています。著書「普通は普通じゃない～人間関係の再構築のために～」

司会・進行　神田 すみれ 愛知県立大学 多文化共生研究所 / 地域と協同の研究センター 研究員

お申し込み：愛知県立大学地域連携センターホームページへ
問い合わせ先：愛知県立大学　研究支援・地域連携課
メール：renkei@bur.aichi-pu.ac.jp
電話：0561-76-8843（電話での申込みはできません）

主催：愛知県立大学　地域連携センター
共催：愛知県立大学　多文化共生研究所
　　特定非営利活動法人 地域と協同の研究センター